



やまがた 議会だより

33号

平成23年8月1日発行

発行：山県市議会

編集：議会報編集委員会

〒501-2192

岐阜県山県市高木1000番地1

Tel. 0581 (22) 6840

Fax. 0581 (22) 6852

E-mail gikai@city.gifu-yamagata.lg.jp



椎倉坂「交通指導所」にて啓発活動（富岡保育園児）

目 次

第2回定例会	P2
第2回臨時会	P2
常任委員会報告	P3・4
第3回（9月）定例会予定	P4
所管事務調査	P5～7
一般質問	P8～11
議会活動日誌	P12

第2回 定例会・第2回臨時会

平成23年第2回定例会を6月9日から6月30日までの22日間の会期で行いました。

9日には、市長より上程された報告案件3件・条例案件1件・予算案件1件の提案説明があり、13日は総務文教委員会、14日は産業建設委員会、16日は厚生委員会の所管事務調査を行いました。21日には、初日に上程された議案に対する質疑を行い、続いて条例案件1件、契約案件1件の追加があり、質疑後それぞれ所管の委員会に付託され、22日に総務文教委員会、23日に産業建設委員会、24日に厚生委員会を開催し、慎重に審議しました。

28日には、人事案件3件の追加があり、質疑・討論・採決を行い、可決しました。また、8名の議員が市政について一般質問を行いました。30日には、付託案件に対する委員長の報告・質疑・討論・採決を行い、全議案議決しました。続いて議員派遣の議決を行い閉会しました。

なお、平成23年第2回臨時会を5月13日に開催し、専決処分案件1件の報告、専決処分案件5件・人事案件11件・条例案件1件・その他案件1件の議決、人事案件2件の選挙及び議会の人事を行いました。議決結果は次のとおりです。

第2回定例会の議決結果

種 別	議 案 名	委員長報告	結 果	採決状況
報告案件	平成22年度山県市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について			
	平成21年度山県市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について			
	山県市土地開発公社経営状況について			
人事案件	山県市副市長の選任同意について		同意	全会一致
	山県市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について		同意	全会一致
	山県市教育委員会委員の任命同意について		同意	全会一致
条例案件	山県市民の歯と口腔の健康づくり条例について	可決	可決	全会一致
	山県市常勤の特別職職員の給与に関する条例の特例を定める条例の一部を改正する条例について	可決	可決	全会一致
予算案件	平成23年度山県市一般会計補正予算（第1号）	可決	可決	全会一致
その他案件	市内5小学校パソコン教室用パソコン等購入契約の締結について	可決	可決	全会一致

第2回臨時会の議決結果

種 別	議 案 名	委員長報告	結 果	採決状況
専決処分案件(報告)	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分について			
専決処分案件	山県市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分について		承認	全会一致
	山県市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について		承認	全会一致
	平成22年度山県市一般会計補正予算（第11号）の専決処分について		承認	全会一致
	平成22年度山県市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の専決処分について		承認	全会一致
	山県市税条例の一部を改正する条例の専決処分について		承認	全会一致
人事案件	山県市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について		当選	全会一致
	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について		当選	全会一致
	山県市監査委員の選任同意について（職見を有する者）		同意	全会一致
	山県市公平委員会委員の選任同意について		同意	全会一致
	山県市教育委員会委員の任命同意について		同意	全会一致
	山県市高富財産区管理委員の選任同意について…7件		同意	全会一致
	山県市監査委員の選任同意について（議員選出の者）		同意	全会一致
	山県市常勤の特別職職員の期末手当の特例に関する条例の一部を改正する条例について		可決	全会一致
その他案件	市道路線の認定について		可決	全会一致

常任委員会報告

総務文教委員会

一 付託案件について

議第三十八号

平成二十三年度山県市一般会計補正予算(第一号) (総務文教関係)

議第三十九号

山県市常勤の特別職職員の給与に関する条例の特例を定める条例の一部を改正する条例について

議第四十号

市内五小学校パソコン教室用パソコン等購入契約の締結について

主な質疑

議第三十八号では

Q 消防費の派遣職員旅費に関し、手当の有無は。

A 派遣職員旅費は、建築技術職員一名を被災地の釜石市へ一ヶ月間派遣するためのものであり、派遣職員の旅費、給与は本市の負担です。超過勤務手当や、休日給、派遣先での公務に関する旅費は、釜石市の負担です。

Q 消防費の防災用簡易トイレは、相手先からの要請によるものか、自主的に提供するものか。

A また、総数は、防災用簡易トイレは、被災地で

ある岩手県へ支援物資として自主的に提供したものです。総数は、備蓄用の追加百袋を含め二千百袋です。

Q 小学校費の指導用教材は、何年生が対象で、何冊購入するのか。

A 教科書は全学年で、教科は国語、社会、算数、生活、図画工作の小学校の五教科です。冊数は市内九小学校で、指導書が三百二十四冊、教科書が三百二十五冊で、合計六百四十九冊です。

議第三十九号では

Q 特別職については、報酬審議会が開かれ審議がされるが、該当する特別職の内訳は。

A 対象となるのは、市長、副市長の給与及び議会議員の報酬です。今回は、市長及び副市長が対象です。

Q 審議会のメンバーの内訳及び審議会の内容は。

A 委員は、条例に基づいて山県市区域内の公共的団体等の代表及びその他住民であり、委員数は七名で、市長から委嘱し審議していただきました。なお、会長は市自治会連合会長です。

内容につきましては、現市長の在任中という考え方で、下げ幅は、他市町村との比較検討の中から適正であるかどうかを諮問し、適正であるとの答申を受けたものを条例案として上程したものです。

議第四十号では

Q パソコン指導のカリキュラムはできているか。

A 特に総合的な学習あるいは技術家庭科、あるいは社会科の調べ学習等で活用します。年間カリキュラムの中で、位置づけをしています。

Q 購入してから七、八年で更新するということがあるのか、本当に小学校で必要があるのか検討はされているか。また、授業支援ソフト、管理ソフトを含め、本当に七、八年で交換していくのか。機器も七、八年でだめになっていくのか。その辺の実情はどのように把握しているか。

A まず機器の問題では、調べ学習をするときに、インターネットのスピードが非常に落ちているのが現状であります。

もう一点は、山県市は今基礎学力定着支援事業を行っており、そのことに関わって、いろいろなソフトを用いて、学習を進めて行きたいと考えています。

採決の結果、全議案とも全会一致で、原案通り可決すべきと決定しました。



産業建設委員会

一 付託案件について

議第三十八号

平成二十三年度山県市一般会計補正予算(第一号) (産業建設関係)

主な質疑

議第三十八号では

Q 商工振興費企業立地奨励金補正予算の提出理由は。

A 山県市企業立地促進条例の規定により、本市に工場等を新設・増設又は移設された場合、操業開始後初めて固定資産税が賦課された年度から三年間、投下固定資産に対して賦課された固定資産税を限度とした交付基準があります。今回提出した奨励金は、企業一社分、昨年、事務所等の改築と設備投資をされた事によるものです。その金額を今回補正予算計上させていただきました。

Q サンセイス美山の土地の一部を、いま購入する理由及び建築以後の土地経過について。

A サンセイス美山を建築する当時、地主が土地名義を残しておきたいとの強い意思があり、借地契約となりました。本年三月に土地所有者より土地を処分したいとの要望があり今回補正予算計上させていただきました。

採決の結果、全議案とも全会一致で、原案通り可決すべきと決定しました。

その他

市道〇二〇一一号（西深瀬農免道路）拡幅改良計画について説明がありました。

厚生委員会

一 付託案件について

議三十七号

山県市民の歯と口腔の健康づくり条例について

議三十八号

平成二十三年度山県市一般会計補正予算（第一号）（厚生関係）

主な質疑

議三十七号では

今後、具体的にはどのように進めるのか。

この条例は、フッ化物洗口事業を引き続き行うことと、全世代の歯周病予防を図り、全身の健康保持、増進を積極的に推進するために定めるものです。その中で基本理念を定めて、市の責務や市民保健、歯科医療、福祉、教育、その他の分野ごとの役割の明確化とその連携を図り、各分野の基本計画の策

定と基本的施策を実施します。それに関する必要な財政措置を講じてまいります。

八〇二〇運動（八十歳になって自分の歯が二十本健歯を保つ運動）について、昨年と今年の該当者は何人か。

二十二年度は二十九人、二十三年度は十月頃の表彰に向けて、これから募集します。これに関し歯科医師会と協力し、歯医者さんの方で推薦状を書いていただきます。広報等でもPRを図ってまいります。

議三十八号では

児童福祉費補助金の地域子育て創生事業費対象年齢は。

この事業は、平成二十一年度から県が基金を造成し、市が事業に対し補助金を出すものです。対象年齢は零歳から就学前までです。

グループホームみやまの里のスプリングラー設置補助金の交付基準は。

総事業費が三百五十四万九千円、県補助金が二百九万七千円で、交付基準単価は、一平方メートルあたり、九千円が交付されます。

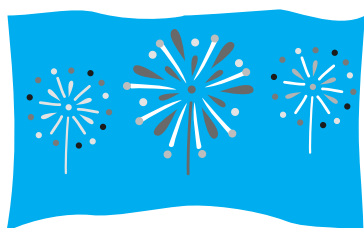
採決の結果、全議案とも全会一致で、原案通り可決すべきと決定しました。

その他

市民環境部長から、六月十六日に実施しました所管事務調査における質疑の追加説明ということで、旧クリーンセンターから排出された焼却灰の最終処分場の掘り起こし処分の是非について、発言がありました。

本件については、当初機種選定の段階において、最終処分場の埋め立て容量の減量化を検討する中で、旧最終処分場の掘り起こし処分の話が前所長から出しました。

その後、機種選定委員会で、それを行うと前処理施設が必要になり、建設費が増額となること及び最終処分場も当初の積算より長期間使用できるということで、旧処分場の掘り起こしはしないということになった旨の報告がありました。



平成23年度第3回（9月）議会定例会予定

月	日	曜日	会 議	内 容
9	12	月	本会議	提案説明
	20	火	本会議	質疑
	21	水	総務文教委員会	付託案件審査
	22	木	産業建設委員会	付託案件審査
	27	火	厚生委員会	付託案件審査
	28	水	本会議	一般質問

月	日	曜日	会 議	内 容
9	29	木	本会議	一般質問
	30	金	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決

会議は原則午前10時より開会します。傍聴の受付は住所・氏名のご記入だけです。お気軽に傍聴にお越し下さい。

所管事務調査報告

各常任委員会の所管する今年度事業等を調査するため、所管事務調査を行いましたので、その報告をまとめました。

総務文教委員会(六月十三日)

サバブラック免震システムについて

免震装置で地震の振動エネルギーを吸収し、逃す効果がある。

パソコンのもととなるシステムが入っている、サバーやハードディスクなど重要な機器の損傷を防ぎ、継続的な行政サービスの安定化を図るため導入した。

免震装置導入費用三百二十七万円は交付金で対応した。

伊自良北小学校経営等について

・教育目標

「かしこくて あたたくくて たくましい子」

学校長の子どもの印象は、「はじめで、けなげな子」でこの背景には、よい姿へのあこがれ・出番があり豊かな経験・行き届いた指導・十六拍子のタイコで自信を深めた・地域の教育力が高い等があると思う。現状に甘んじることなく、どの子にも基礎学力を身に付ける・自

信をもって生き抜けるコミュニケーション能力を身につけるの二点を重点課題として取り組みたいと意気込みを語られていた。

いわ桜小学校経営等について

・教育目標

「願いに向かって根強くやりぬく子・やさしく かしく たくましく」

学校長の教育に対する願いは、その地域にしかない特徴を大事にし、地域に誇りが持てる子を育てたい。願い実現に向けて、化石のある河原での体験・北山茶摘み会・円原の水源地でのやすらぎ体験等、ふるさとに足場を置いた学習に力を入れた。

子ども達は、だれ一人としてボツンとしていることなく学びあって交流している。笑顔いっぱい活動に涙がでるくらい喜ばしく思ったという話があった。

桜尾小学校経営等について

・教育目標

「自ら学びやりぬく子・すすんでかかんがえる すすんでなかよくする すすんできたえる」

学校長は、教育の願いを大きく三点語られた。明日も来なくなる学校にするために、人生の基礎となる学力をきちんと身に付ける・FBC学校花壇コンクール四十八年の体験を踏まえ優しく温かい心を育てる・汗を流し、苦勞を味う

活動を通してねばり強さを育む学校を目指したい。

また、みんながつながる学校にしていくなために、とくに、児童と響き合う・保護者と共に歩む・地域とつながる教育活動を進めたい。

高富小学校経営等について

・教育目標

「思いやりをもち、進んでやりぬく子 考える子 高め合う子 きたえる子」

学校長は、教育は最終的には個性に力を付け、自立・自律させることであるが、多くの人とのかわりの中で、より豊かで確かに成長する。ゆえに仲間を大切にすることを目指したい。

確かな学力を定着するため、習熟度別小人数指導の充実を図る。算数の学び方の定着を重点化する。

六月十八日には、日本生活科・総合的学習教育学会第二十回全国大会岐阜大会の第二会場として授業の公開と研究発表が行われた。

節電を積極的に推進するため、職員はクールビズで勤務しているということであった。

救助訓練視察

消防隊員五名が新しく購入したザイルを使って、川の中州に取り残された人を救助する訓練を視察した。一般車両等の通行の妨げにならない花咲き橋を利用して訓練

が行われている。

三連はしごを活用し、救助隊員が、「大丈夫ですか」「間もなく救助に行きますから頑張ってください」等、精神的なケアを行いながら救助に当たっていた。

隊員はフルボディハーネスを身につけ、新たな金具やロープを準備して降下、人をプラスチック製の船に乗せ、隊員が同行して橋の上に救助した。諸準備から救助までに要した時間は十分弱であった。新素材のザイルは、十一ミリの太さで四トンの重さに耐える丈夫さを保持しているという。

命を救う緊急時の対応は日頃の備えがあつてこそその感を深めた。



【救助訓練 花咲き橋にて】

産業建設委員会(六月十四日)

東海環状自動車道

本年度の山県地域域の東海環状自動車道関連予算額は、二十五・五億円である。

「東深瀬地区」での買収予定面積は八万八千八百八平方メートル、建物数二十三件、土地の契約率は約四十二%、建物の契約率は約三十五%である。

「西深瀬・高木地区」での買収予定面積は十三万九千六百八平方メートル、建物数三十五件、土地の契約率は約三十一%、建物等については、これから交渉していく。

国道二百五十六号高富ハイパス整備事業

庁舎東から農免道路までは、平成二十四年の「ぎふ清流国体」開催までに通行可能となる。

なお、本年度事業費は、工事費一・二億円、用地補償費七億円である。

(仮称)市道東浦線測量設計委託業務

市道東浦線は、東海環状自動車道、国道二百五十六号高富ハイパスの進捗状況に合わせ測量、設計業務を行う。

鳥羽川改修事業

富岡排水場付近までの鳥羽川改修が施工中で、新川大橋は、平成二十四年の「ぎふ清流国体」開催までに通行可能となる。



【新川大橋にて】

国道四百十八号(中洞工区)

畑野地内のバイパス整備により、車輛の円滑な通行と歩行者の安全確保を図るため、二十二年翌債分七千八百八万九千六百七十七円で法面工事が行われ、二十三年度は一千万円の調査測量費が組み込まれている。

国道四百十八号(葛原工区)

葛原市井地内の狭小区間の改良により、平成二十三年度に完成予定となっている。

県道伊自良高富線改修工事

大桑斧田地内の未改良区間の改良により、平成二十四年度までに完成予定となっている。

市道栢野線舗装改良工事

平成二十四年の「ぎふ清流国体」開催に合わせアクセス道路として、国体関連事業と調整を図りながら舗装改良工事が行なわれる。

国体跡地公園整備設計委託業務

この事業については、新市長の方針により、抜本的に考え直すことになった。

農業生産法人による野菜づくり等(上野平)

農業生産法人が農地を借り加工野菜(大根・キャベツ等)が栽培されている。

作付面積は十一万二千三百八十七平方メートル、有機栽培を主体に、安全で美味しい食材の生産に取り組まれている。

大森(恋洞)地区企業誘致事業

工場誘致の面積は約一万五千二百四十八平方メートルで、進入路は市道として、延長三百三十メートル、幅六・五メートルの道路建設を予定している。

昨年には、三百三十二万七千円で工業用井戸水調査を行い毎分百

リットルの水量が確認できた。

産業団地予定地(御所野平)

産業団地として工場等の誘致を図るため、農村地域工業等導入促進法に基づき県に指定がされている。誘致面積は三十一・六ヘクタールの五区画、進入路は千六百七十メートル、幅七メートルである。

林道釜ヶ谷線改良事業

平成二十二年台風九号の局地的豪雨により被災したため復旧改良工事が行われ、二十三年度予算額は百九十九万五千円、平成二十二年繰越(きめ細やかな交付金)が当てられる。

県単かんぱい事業

大森地区では、用水路の漏水、不等沈下により営農に支障を来しているため用水路の改良が行なわれる。

二十三年度予算額は三百十八万五千五百円である。

梅原地区では、用水路の漏水により、乾田化できず、営農に支障を来しているため用水路の改良が行なわれる。

二十三年度予算額は三百七万六千五百円である。

厚生委員会(六月十六日)

青波福祉プラザ

喫茶どんぐりの森(旧中央保育園)で、NPO法人どんぐり会の上野会長から活動報告を受けた。当日開催された「いこいの広場」の活動を見学し、どんぐり会の地域との交流と、高齢者の後方支援に感謝し、今後共、一層のご活躍をお願いした。

ペットボトルリサイクルセンター

委託業者より収集状況と処理の説明を受けた。施設の稼働は、一ヶ月八日間位で処理出来るとのこと、ボトルのキャップ分離を徹底してほしいとの依頼があった。



【ペットボトルの梱包風景】

カン、ビンリサイクルセンター

委託業者より収集状況と処理の説明を受けた。施設の稼働期間は、おおよそ二週間位、アルミ缶は七キロ、スチール缶は十キロのパックに圧縮処理されていた。



【圧縮処理された缶】

高富児童館

館長から「児童館では、子育て支援の拠点づくりや地域間の世代交流を進めながら、子供の健全育成の支援をしている。開館して一年、一万八千余名の利用者がある。」との運営状況の説明を受けた。



みやま保育園

園長より運営状況の説明を受け、その後園舎内を視察した。平成二十三年四月より旧乾保育園(二十八名)との統合により、定員百二十名で発足し、一歳児クラス、五歳児クラスまで五クラスで百十名、職員数十七名、親子共々統合による弊害、違和感はないという報告を聞き、元気な園児の笑顔と共に、安心した。



【園児の給食風景】

クリーンセンター

委託業者より収集状況と処理の説明を受けた。十八トン二炉が二十四時間、交互運転で事業開始以来、順調であるとの報告を受けた。当初予想よりゴミの量は減っている。委託料も減る。一層の経営努力を依頼した。また最終処分場の埋設ゴミの再処理(燃焼)について、後日報告するよう求めた。

岐北衛生センター

事務局長より、岐北衛生施設利用組合の概要説明を受け、施設を視察した。

汚泥焼却業務をクリーンセンターに委託した事により、年間五百万円位経費が少なくなった。汚泥量が年々減っている。



【汚泥をホッパーにて運搬】

8人の議員が登壇し、市政を問う

一人45分の中で質問しました

エコ対策について

影山 春男 議員

問 世界的に地球の温暖化、オゾン層の破壊などの事態を招いたのは急激な車社会の進展、便利になった家電製品など科学技術の発達が考えられます。

山県市は高富小学校・高富中学校、美山中学校に太陽光発電のソーラーパネルを設置したが、市内の小・中学校や社会施設などに設置の考えはあるのでしょうか。また、エコ対策として、ノーマイカーデーを推進する考え、ハイブリッド車を増車する計画や、エコ運動を推進する考えはありますか。

答 太陽光発電システムの設置は、公共施設ごとに維持管理費の費用対効果などの検証が必要であり、現在は太陽光発電システムの設置計画はありません。

エコ対策は、市内二百二十四カ所のステーションで、びんや缶などの分別収集を行い、三百三十五トンを再利用化しています。休日収集では、蛍光管二トン、乾電池四トンを収集し再資源化しています。

そのほか、PTAなどで実施する資源回収活動の助成、レジ袋の有料化による「マイバック運動」レジ袋辞退率平均九十五％などのエコ対策を行っています。

ノーマイカーデーの推進は、広域にわたる山間地域であり、公共交通網が充実されていません。通勤や日常生活での移動手段はマイカーとなり、個々の自発的な取り組みとなっています。

ハイブリット車の増車計画は、現在の公用車のうち、ハイブリット車は三台、軽自動車の低燃費車は十二台です。公用車を減らすことを原則としており、増車の計画はありませんが、買い替えが必要な場合は、ハイブリット車などの購入を検討します。

エコ運動の推進は、「ごみの分別ごみを作らない、出さない。」が家庭でのエコ対策の基本です。具体的な節電対策事例のHPやチラシを作成し、市民に協力をお願いします。（市民環境部長）

今後の山県市政について

横山 哲夫 議員

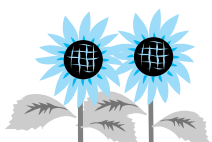
問 林市長は、四月の市長選挙に当選されました。その公約の中に「あらたに始める八つの重点施策」の興味深いものがあり

「地域通貨」、「アマンド交通」、「地域委員会」そして「事業仕分け」等々、まさに新しい施策を掲げられました。市長に就任され、まだ二カ月ほどですが、新しく展開されようとされている施策について、現時点での考え方や、今後どのようにに実現を目指して行かれるのか、お尋ね致します。

答 地方分権の進展とともに、地方を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあり、次代を見据えて、持続可能なより良い地域づくりを目指していくには、市民と行政とが一丸となって、立ち向かっていく以外に方法はありません。こうした中で、市民の方々と対話していくための素材として「私が考える山県市のまちづくりビジョン」を作成しました。必ずしもここに掲載した施策に固執することなく、より多くの市民の方々と

の対話と共感のもとで、より良い施策の推進に努めてまいります。また、実現できるものから随時実施していくという考え方のもとに私の給料の引下げのほか、県内他市町村に先駆けてのクールビズの実施、職員の知識・能力の共有化に向けた取り組みなどを既に実施しております。

「新たに始める八つの重点施策」につきましては、五月中旬頃から「市長レクチャー」を実施しており、先ずは市役所内部での検討を進めている段階でございます。今後、速やかな実施を目指し、市民への提示、議会への提案を行ってまいります。また、市民の関心の高い施策につきましては、九月の議会を目的に、実現の可否も含め、実施の時期や方法等について、一定の方向性を見出しまいりたいと考えております。（市長）



防災対策の見直しについて

宮田 軍作 議員

問 本市の防災対策は一定の基準を定め対応されていると考えます。

現在、東海・東南海地震の発生確率が高くなっています。東日本大震災を教訓にし、三十五年前の鳥羽川・伊自良川が氾濫した昭和五十一年九月十二日の集中豪雨や、昨年九月葛原地域に発令された土砂災害避難勧告などの自然災害から市民の尊い生命・財産を守るために今までの防災対策を見直す必要があると考えます。

次の三点についてお尋ねします。

- ①現状の課題と対応について
- ②伊自良湖など住居に近い溜め池の耐震状況について
- ③自助・共助対策と推進について

答 ①大規模災害の発生の際、消防車等が同時に多数の現場に駆けつけることができないので、「自分の命は自分で守る。自分の地域はみんなで守る。」という市民の防災意識が重要であると考えます。市では、実践的な防災訓練を行うとともに、非常時の情報伝

達について、避難勧告等の判断・伝達基準の必要な見直しを行ってまいります。また、土砂災害への対応については、ハザードマップを順次作成し、配布する予定です。②市内では、八か所が危険溜め池として県に登録されており、このうち伊自良湖は、平成十八年度に耐震調査を行い、震度五弱で堤体の水面側が「滑る」という結果が出ています。一気に崩れることはありませんが、被害が想定される場合には、防災行政無線等で避難を呼びかけますので、日頃から、高台への避難経路の確認をお願いします。③市内では、百三十五の自主防災会が組織されており、防災訓練等を実施される際には、費用の一部を補助しています。要請に応じて、防災担当職員や消防職員が指導・助言に当たっています。また、災害図上訓練等を行うNPO法人山県市災害ボランティア・サポートセンターの活動も支援してまいります。

(市長)

市民環境部における今後の取り組みについて

石神 真 議員

問 他の部署に比べ窓口業務が多くありますが、サービス業の一つである窓口業務について、公共下水の接続と加入について、国民健康保険税について、それぞれの新たな取り組みと、見通しについてお尋ねします。

答 窓口業務は、庁舎内の課ごとに番号を付け、分かり易くすると共に、市民課や税務課のローカウンスターに仕切り版を設置し、プライバシーの保護に配慮しまし

た。職員の意識啓発、スキルアップを図り窓口業務を充実します。

公共下水道は、下水道の必要性などを紹介するパンフレットを作成し説明会にて有効に活用し、接続率の向上を目指します。

国民健康保険税の見直しは、毎年の医療費の推移や保険税の状況を把握して、一般会計による負担も検討し、保険税率を考えていきます。

(市民環境部長)

産業建設部における今後の取り組みについて

問 産業建設部としては、産業振興課（グリーンプラザみやま）、企業誘致推進室、建設課、都市計画課、東海環状自動車道対策室、など幅広い分野が有ります。自治会要望について部長としての見通しと、お考えをお尋ねします。

答 産業振興の分野では、商工会などの関係団体や市民の方々のご協力をいたしながら「元気の出るまちづくり」を目指します。東海環状自動車道や国道二百

五十六号、国道四百十八号を中心とした道路改良事業を促進し、安全で快適な生活を送るためにも「自然環境に配慮した災害に強いまちづくり」を目指します。

自治会要望については、毎年五百件程度が寄せられています。公共性、緊急性のあるものから順次対応しています。

早期実現には、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠ですので、ご理解をお願い致します。

(産業建設部長)

市の防災管理体制の整備について

杉山正樹 議員

問 東北大震災以後、各自治体とも一層の防災対策が取りざたされており、山県市の管理体制について以下お尋ねします。

市内の山・川・道路などの危険区域や危険箇所の把握はできているか、できているなら市民に詳しくその箇所や、場所ごとの対応策を知らしめ、協働による防災体制の整備が必要と考えるがいかがか。

また、各自治会や地域の防災組織や訓練の活動状況について、行政の役割は十分に発揮されていると考えているか。

更に、一般民家についても昭和初期の建物も多くあるが、耐震対策周知についての普及状況はどのようなか。

答 本市には、土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所が六百九十五箇所あり、工事に着手又は完成したところが二百七十六箇所となっており、順次、砂防堰堤・流路工・擁壁などの工事が進められております。河川は、伊自良川圏域河川整備計画や長良川圏域河川整備計画により、県で順次整備が進められています。道路は、美山地域の三路線を雨

量規制区間としております。

こうした災害危険箇所については、「土砂災害ハザードマップ」や「洪水ハザードマップ」を全戸に配布し、市民への周知を図っております。

自主防災組織については、市内百五十六自治会のうち百五十二の自治会により、百三十五の自主防災会が組織され、それぞれ訓練を実施されており、消耗品の購入助成や資材の提供などを通じ、組織の更なる機能向上に努めてまいります。

耐震対策につきましては、昭和五十六年以前の旧建築基準法で建てられた住宅が全戸の四十一％程度あり、耐震診断や耐震補強工事への補助制度がありますので、今後は、広報やイベントのほか、戸別訪問などで積極的なPRをしていきたいと考えております。

(総務部長・産業建設部長)

子育て支援について

上野欣也 議員

問 五月一日の市の人口は、二万九千四百十五人で、二年前に比べ七百五十九人の減少です。「地域通貨」制度による出産育児支援の内容と実施時期、人口減少化に対応する子育て支援の総合的な施策は。

答 出産育児支援につきましては、新生児祝い金として支

給し、遅くとも来年度の実施を目処に検討を進めてまいります。子育て支援の総合的な施策につきましては、安心して子どもを産み育てることができる社会、安心して働ける社会をめざし各種の施策を検討してまいります。

(市長)

節電対策等について

問 中部電力は、浜岡原発の全面停止に伴い、電力の安定供給には、企業や一般家庭の節電が欠かせないと発表しました。庁舎や公共施設の節電対策及び「節電エコポイント」導入や太陽光発電の設置の考えについて伺います。

答 市役所庁舎では、休憩時間の消灯・執務室等の蛍光管の間引き・冷房温度設定二十八度

の徹底等。学校では、給食時等の教室・職員室の消灯等に取り組んでいます。「節電エコポイント」導入については、制度設計を検討したいと考えております。太陽光発電は、平成二十一年度より住宅用太陽光発電システム設置者への補助金を交付していますが、今後の動向を踏まえ、予算枠の拡大を検討してまいります。

(市長)

地震の液状化現象の対策等について

問 埋め立て地の地震による液状化の可能性が指摘されます。市庁舎や公共施設の安全性は。

答 市役所庁舎は、硬い地盤に達するまで杭を打ち、その上に建築しているので、液状化対

策は必要ないと思われますが、庁舎周辺の駐車場等は液状化の危険性があります。公共施設の液状化現象の可能性についての調査は実施していませんが、今後、検討してまいります。

(総務部長)



防災対策について

尾関 律子 議員

問 地域の状況に合わせた災害に強いまちづくりへの考えとして

- ① ハザードマップの再検討
- ② 避難所となる学校・公共施設の耐震化と防災行政無線の音声案内
- ③ 被災者支援を迅速に行う「被災者支援システム」の導入
- ④ 夜間の防災訓練の実施

答 ① 土砂災害ハザードマップは、今年度、県の基礎調査がほぼ終了した伊自良地域分を作成し、全戸配布します。他の地域は、来年度以降に順次作成する予定です。② 県が市町村の避難所の総点検を

行う方針であり、耐震性にとどまらず、総合的に検証する予定です。また、防災行政無線の放送内容の確認は、電話（23-1033）をご利用ください。

③（財）岐阜県市町村行政情報センターが、構築準備に着手しておりますので、内容を検討のうえ、早期に導入できるよう調整してまいります。

④ 夜間の防災訓練の必要性は認識していますが、先ずは、昼間の防災訓練を実効性のあるものにして参加者に浸透を図ることが先決であると考えております。

（総務部長）

救急医療情報キットについて

問 かかりつけ医や緊急連絡先などの救急情報を容器に入れ、どの家庭にもある冷蔵庫に保管し、冷蔵庫と玄関扉の裏側にシールを貼り救急隊員にすぐわかるようにする。迅速に命を守る救急医療に役立つ取り組みについて、導入の考えは。

答 現在、本市におきましては、六十五歳以上のひとり暮らし世帯、寝たきり高齢者を抱える六十五歳以上の世帯等を対象に緊

急通報システム事業を実施しております。現在三百二十四世帯に装置の貸与を行っております。

緊急医療情報キットにつきましては、今後緊急通報システムが設置されている高齢者世帯等を除いた六十五歳以上の高齢者の方や、障害者手帳保持者の方を対象に、配布時期につきましては、今年度内を目処に各関係機関の協力を得て実施してまいりたいと考えております。

（保健福祉部長）

二十三年度予算の見直しについて

久保田 均 議員

問 編成当時市長は不在だったので、今後の市政執行に見直し或いは、修正する部分があれば伺いたい。

- ① 各種設計委託料について
- ② 国体馬術競技場の市有地六万平方メートルの跡地利用について

答 ① 設計委託料は、国土交通省が告示した積算方法等

人件費の削減について

- ① 定年退職者以外の勧奨等による退職者の実態について
- ② 職員給与と民間給与の格差是正について
- ③ 議員報酬の削減について

答 ① 勧奨退職の活用や新規採用の抑制で、第三次定員適正化計画に掲げる「平成二十七年

より積算しております。

簡易な工事については、極力職員で対応しております。

② 当初予算に計上した国体跡地公園整備設計委託料二千万円の執行を見合わせ、有効な跡地利用について、十分に検討してまいります。

（市長）

度までに三十五人の削減を上回る削減を目指してまいります。

② 人事院では国家公務員の給与削減に沿った勧告がなされるとの報道がされており、これを踏まえて、合理的な方法を検討してまいります。

③ 議会において主体的に検討されるべきものと考えております。

（市長）

東海環状自動車道の今後の進捗について

問 東海環状自動車道西回りルート七十七キロの事業費が二十三年度予算二百十三億六千万円の配分が決定した。その内本市分は約三十億円位と思う。そこで用地買収に積極的でスピード的な作業に期待をするので、市の対応姿勢を伺いたい。

答 東海環状自動車道の西回り内、市内において、東深

瀬地区と西深瀬地区及びインターチェンジへのアクセス道路となる国道二百五十六号バイパスの用地買収に着手されていきます。

事業者である国道事務所や岐阜県と連携し、一日も早い開通に向け、私を先頭に四名のスタッフで、用地買収などに積極的に取り組みます。

（市長）

◆ 議会活動日誌 ◆

4月

- 5日(火) 議会報編集委員会
- 13日(月) 議会報編集委員会

5月

- 13日(金) 第2回臨時会
- 20日(金) ぎふ清流国体・ぎふ清流大会山県市実行委員会
- 第3回常任委員会並びに第3回総会
- 30日(月) 行財政改革推進特別委員会
- 31日(火) 東海環状自動車道及び幹線道路整備促進特別委員会
- 山県市青少年育成市民会議総会

6月

- 1日(水) 議会運営委員会
- 3日(金) 全員協議会
- 議会報編集委員会
- 9日(木) 第2回定例会本会議 (提案説明)
- 10日(金) 議会運営委員会
- 13日(月) 総務文教委員会
- 14日(火) 産業建設委員会
- 16日(木) 厚生委員会
- 21日(火) 本会議 (質疑)
- 22日(水) 総務文教委員会
- 23日(木) 産業建設委員会
- 24日(金) 厚生委員会
- 26日(日) 山県市少年の主張大会
- 28日(火) 本会議 (一般質問)
- 30日(水) 本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決)
- 議会運営委員会



編集委員

編集後記

「暑い、暑い」この言葉から始まる毎日。そんな中、中部電力は、首相の要請により浜岡原子力発電所を停止しており、夏期の電力量が余裕のない状態であると、節電を強く呼びかけています。その要請にこたえる為に企業や皆様の省エネ対策が続いていることと思いますが、体調管理には十分、留意して下さい。

さて、この度の改選により私たち五名が、編集委員としてお世話になることとなりました。四月一日から、CCYの放送が無くなり、議会活動の様子を知らせる唯一の議会報として、更に重要な役割が課せられています。

より充実した内容で編集委員一同研鑽し、頑張る所存でございますので、よろしくお願い致します。

(文責 村瀬伊織)

編集委員

委員長 田垣 隆司
副委員長 上野 欣也
委員 杉山 正樹
委員 尾関 律子
委員 村瀬 伊織